



○花切川地区農村地域防災減災事業
(平成27年度～令和元年度)
南谷地排水機場のポンプ増設
(3号機、4号機の2基)

○自動制御による稼働水位

取水口の深さ 3.00m

1号機 1.14m【口径600mm、39m³/分】

2号機 1.20m【口径600mm、39m³/分】

3号機 1.32m【口径500mm、30m³/分】

4号機 1.32m【口径500mm、30m³/分】

1号機
2号機

南谷地排水機場

3号機
4号機

○台風、大雨の場合、管理人が自動制御を手動制御に切替え、状況に応じて排水ポンプを稼働する。

手動制御により、4基すべて稼働しても、取水口の水位が急激に下がるだけで、排水処理能力と雨水の到着時間とのバランスが悪い。

○現状の課題として、排水能力は高いが、排水機場への排水路の流れが悪い(遅い)ため、内水の復旧に時間がかかる。排水機場は農作物の湛水被害を防止するためであり、その役割は果たしていると考えられるが、宅地化が進んでおり、道路の冠水を防ぐことにまで至らない状況である。

東北町の上北地区については、高瀬川（七戸川）の七戸観測所と高瀬川（小川原湖）の小川原湖観測所の水位によって、避難情報を発令する仕組みです。

